

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 9 月 22 日 (2011.9.22)

【公表番号】特表 2011-503968 (P2011-503968A)
 【公表日】平成 23 年 1 月 27 日 (2011.1.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-004
 【出願番号】特願 2010-532055 (P2010-532055)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/26 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 8 日 (2011.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

チャンネルの切り替え又はあるチャンネルへの同調を実行する装置で使用方法であって

、

H.264/AVC 規格に従って符号化された複数のスケーラブルレイヤを含むスケーラブルビデオ符号化信号を受信するステップと、

他のスケーラブルレイヤよりも多くのランダムアクセスポイントを有する依存性のレイヤに対する復号化を設定するステップと、前記依存性のレイヤは、現在の復号化レイヤであり、

I D R (Instantaneous Decoder Refresh) スライスについて現在の復号化レイヤからのフレームをチェックするステップと、

前記現在の復号化レイヤにおける I D R スライスの検出に応じて、前記現在の復号化レイヤにおける前記符号化されたビデオを復号化するステップと、

I D R スライスの他のスケーラブルレイヤからのフレームをチェックするステップと、

前記現在の復号化レイヤの値よりも大きい dependency_id の値をもつ依存性のレイヤにおける I D R スライスの検出に応じて、前記現在の復号化レイヤの値よりも大きい dependency_id の値をもつ依存性のレイヤにおける符号化されたビデオを復号化するステップと

、

を含む方法。

【請求項 2】

前記多くのランダムアクセスポイントを有するスケーラブルレイヤは、前記スケーラブルビデオ符号化信号のベースレイヤである、

請求項 1 記載の方法。